



■多くの来場者が集まった静岡新産業集積クラスタのブース

## 国際モダンホスピタルショー2009に初出展

### 全国の医療関係者に、プロジェクトと成果をPR

「国際モダンホスピタルショー2009」が7月15～17日、東京ビッグサイトで開催された。県はファルマバレープロジェクトを中心とした静岡新産業集積クラスタの成果等をPRするため、初めて出展した。

ブースにはファルマバレー関連企業の4社(株)アオイ、(株)タウンズ、東海部品工業

(株)、(株)ホリックスがファルマバレーから生まれた成果品を出展したほか、フーズ・サイエンスヒルズから(株)マルハチ村松も参画した。会場には病院、診療所、医療機器メーカーなどから約7万6千人が来場し、熱気にあふれた。県ブースにも多くの方々が訪れ、成果品の商談も行われた。

## ちょんまげ君が「第2回看護のアイデアde賞」に入選

同イベントでは昨年度から、患者のケアに携わる人たちのさまざまな改善や工夫、アイデアを審査・表彰する「看護のアイデアde賞(委員長:日本看護協会永池京子常任理事)」を開催。2回目となる今回は、静岡がんセンターの松見しのぶ看護師長の「ちょんまげ君(一時的下大静脈フィルター固定用具)」が全66アイデアの中から見事「佳作」に入選した(グランプリ1点、準グランプリ2点、

佳作3点)。

また、17日にはセミナーが行われ、県新産業集積室の増井浩二室長が「静岡新産業集積クラスタ」について解説したほか、松見看護師長がちょんまげ君の開発経緯を発表。受賞したアイデアはイベント特設コーナーで実物展示されたほか、作品紹介冊子・同ショーのホームページでも広く紹介され、ファルマバレーのPRに大きく貢献した。



■受賞を喜ぶ関係者(左から静岡がんセンター研究所楠原地域資源研究部長、松見看護師長、青木看護部長)

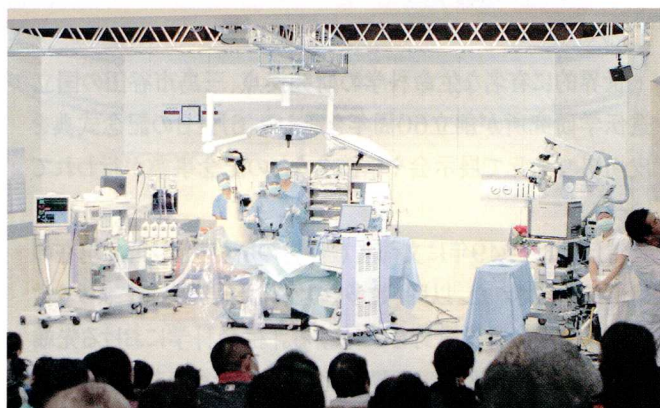
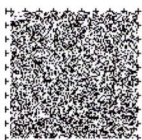
## Coming Soon

### 医療を聞く・見る・触れる— 「メディメッセージ2009」

医療機器の展示や実演、体験を通じて「がん」「脳卒中」「心筋梗塞」について学ぶイベント「メディメッセージ2009」が開催される。

これは、地域住民とコミュニケーションを図り、信頼の高い医療環境を目指すとともに、日本人の死因の多くを占める「がん」「脳卒中」「心筋梗塞」に関する情報を提供し、予防医療や早期治療に対する地域意識を高めることが目的。さらに、子どもたちが医療技術に触れ、医療者と出会う機会を設けることで、未来の医療分野の担い手育成につなげる。

会場では、手術室の再現や医師による模擬手術、救急車の展示や子どもたちの記念撮影コーナーのほか、ファルマバレープロジェクトでの開発製品や取り組みなど地域産業についても紹介する。



■手術デモを真剣に見入る来場者(写真は昨年模様)

と き 9月12日(土)・13日(日)  
両日とも10時から16時30分  
会 場 キラメッセ沼津 入場無料  
問 合 せ メディメッセージ2009実行委員会事務局  
(ファルマバレーセンター内)  
電 話 055-980-6333